

# 「住もう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ】U&Iときめき課 ☎773-6659

## 南魚沼市で輝くひと（第7回） たけみやけいすけ 武宮敬介さん

今回は、NPO法人六日町観光協会働く武宮敬介さんをご紹介します。

Q. 移住するまでの経歴を簡単に教えてください。

A. 出身は、東京都調布市です。大学生の時に自然を相手に子どもと遊ぶサークルに入り、そのころから南魚沼市で行われている子ども自然体験村に関わってきました。大学卒業後、自然体験指導者として経験を積み、子ども自然体験村の責任者になりました。移住するまでの10年間は、夏休みなどの長期休みに合わせて市内に住み込み、子どもたちの引率や指導をするという生活をしていました。



Q. 移住を決意したきっかけを教えてください。

A. 地域の人たちと知り合い、移住に対する不安がなくなっていったということが一番のきっかけですね。

Q. 南魚沼市で暮らす魅力を教えてください。

A. 食が魅力です。また首都圏とのアクセスが便利なのもよいです。

Q. 今後の夢を教えてください。

A. 子ども自然体験村を通して、さまざまな地域の子どもの受け入れはできています。今後は行政や観光協会などが繋がり、オール南魚沼で活動をしていきたいです。将来は「子ども自然体験をするなら南魚沼」といわれるような自然体験の盛んな地にすることができればと考えています。

Q. これから南魚沼市で暮らそうと考えている人にアドバイスをお願いします。

A. 南魚沼市では、さまざまなコミュニティ活動が盛んになってきています。自らそのコミュニティに飛び込むことができればよいですね。

## 「南魚沼市に住みたい!」と思ってもらうために

首都圏からの移住・定住を促進するために、「田舎ライフ塾」を開催しました。1クール全4回のセミナーで、1～3回目は首都圏で南魚沼の状況を説明し、4回目は実際に市を訪問し、自然や雪国仕様の住宅などの見学、地域の人や移住経験者との交流会を行いました。

### 参加のきっかけ

- ・地域の人と交流できる機会がないので体験したかった。(61歳男性)
- ・移住を考えるうえで、雪の時期を見ておきたかった。(47歳女性)
- ・地域の人に直接話を聞きたかった。(53歳男性)

### 参加してみた

- ・豪雪地のイメージが変わり、自分でも何とか生活していけそうだと考えた。(53歳男性)
- ・スキー場以外の南魚沼市の魅力を知れた。次の機会は家族を連れて参加したい。(61歳男性)
- ・買い物の拠点やコミュニティが多いことを知ることができてよかった。(67歳女性)
- ・ショッピング施設が思っていたより多いことに驚いた。特に冬の生活には、自動車が必須だということを知った。(60歳男性)

### 《田舎ライフ塾参加者の内訳》

男女別	男	女	計
第1クール	97人	23人	120人
第2クール	80人	18人	98人

年代別	30代以下	40代	50代	60代	70代以上
第1クール	10人	36人	52人	17人	5人
第2クール	12人	19人	55人	12人	0人

出身地別	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	愛知県
第1クール	76人	30人	9人	4人	1人
第2クール	69人	21人	5人	3人	0人

## 南魚沼市への応援の輪が広がっています

ふるさと納税の寄付者や市出身者などを対象に市を応援してもらう「南魚沼市ふるさと応援隊」に3月15日(休)現在で2,700人から申し込みいただきました。引き続き、市を応援してもらえよう、移住定住に関する情報や観光情報などを発信していくとともに、首都圏での交流会などのイベントも企画していきます。ぜひ、市外、県外の知人にお声がけください。